

# 「第3次北九州市営バス事業経営計画（令和3年度～令和7年度）」（概要版）

## 計画目標

お客様に安全、安心、快適な交通サービスを提供するとともに、収益的収支の均衡を目指す。

## 市営バスを取り巻く現状と課題

- バス利用者減による乗合収入の減少
- 運転者の確保
- バス車両の老朽化
- 軽油単価の高騰による燃料費の増加
- 不採算路線の維持
- 新型コロナウイルス感染症による影響

対応

## 基本的な考え方

1 安全で安定した交通サービスの提供

2 誰もが安心して快適に移動できるサービスの提供

3 経営基盤の強化

## 具体的な取組内容

- (1)人材の確保  
 ア 運転者の確保  
 イ 運転者・運行管理者の育成  
 ◆安全に関すること  
 ◆接遇に関すること
- (2)安全な運行を確保するための運行体制の整備  
 ア 職員の健康管理の徹底  
 イ バス車両の整備  
 ウ 「AIを活用した高齢ドライバー見守りシステム」の構築
- (3)効率的な乗合バスの運行

- (1)便利で利用しやすいサービスの提供  
 ア 利用者に分かりやすい案内情報の充実  
 ◆効果的な情報発信  
 ◆バスロケーションシステムの導入  
 イ 全国で相互利用可能なICカードの導入  
 ウ モバイル乗車券の利用促進  
 エ お客様ニーズを踏まえたサービスの向上  
 オ 快適な利用環境の整備
- (2)誰もが安心して移動できるサービスの提供  
 ア 高台地区等におけるお買い物バスの運行  
 イ 「ふれあい定期」の利用促進  
 ウ 妊婦さんの運賃割引制度の継続  
 エ 「福祉優待乗車制度」の継続  
 オ 新型コロナウイルス感染防止対策の徹底

- (1)抜本的な運行システムの整理(幹線と支線)  
 現行の路線網を「幹線」と「支線(フィーダー)」とに分け、システムの整理を行うとともに、巡回バス路線を新設し、運行の効率化を図る。
- (2)収入の確保  
 ア 乗合収入の確保  
 ◆モビリティ・マネジメントを通じた乗合バスの利用促進  
 ◆全国で相互利用可能なICカードを活用した利用促進  
 ◆モバイル乗車券を活用した企画乗車券の販売促進(再掲)  
 ◆市の施策との連携  
 イ 附帯事業の増収  
 ◆貸切バス事業、受託事業  
 ◆広告事業
- (3)継続的な業務改善  
 ア エコドライブの推進  
 イ 経常的な経費の削減